

バイオクライマティックデザイン小委員会 2010年度 第2回
議事録

日時：2010年8月27日（月）17:00～

場所：日本建築学会 305 会議室

出席者：須永、長谷川、大野(日本設計)、菅原、北瀬、廣谷、金子、深澤、平口(東大)

1. 資料確認

資料 2-0 第1回議事録

資料 2-1 第2回議事次第

資料 2-2 建築学会・環境工学本委員報告(猪岡先生)

資料 2-3 20100730 細々分類 WG 検討結果

資料 2-4 2010AIJ 協議会 地球環境保全に関する熱環境分野の研究成果・社会貢献と喫
緊の課題

資料 2-5 環境設計のための自然エネルギーポテンシャルの提案(長谷川先生)

資料 2-6 (財)ベターリビング つくば試験研究センター 試験研究本館:(株)エステック計
画研究所設計

2. 委員公募応募者について

- ・ 旭化成ホームズ 築山さんの紹介
- ・ 期日確認→承認

3. 出版 WG の状況

- ・ 出版 WG 幹事廣谷委員から委員会報告
- ・ タイトル「みつける・つくる建築環境 –バイオクライマティックデザイン」
- ・ 12月末に向けてラストスパート

4. 熱環境運営委員会からの報告と依頼について

資料 2-2：建築学会・環境工学本委員報告(猪岡先生).pdf

- ・ 2011年度活動計画案・予算案（10/23(土)熱シンポジウム後提出）
現小委員会および WG の廃止申請書→深澤
新小委員会および WG の設置申請書→長谷川先生
- ・ 2011AIJ 大会での OS 提案（10/23(土)熱環境運営委員会で提案）
エコ改修(オフィス・住宅・学校…) はどうか？

資料 2-3：20100730 細々分類 WG 検討結果

- ・ 必要な項目が抜けてしまっているため、修正依頼が必要

11. バイオクライマティックデザイン

- a. 気候・風土と建築
- b. 自然エネルギー利用建築（太陽熱・地熱）
- c. 自然エネルギー利用建築（通風・換気・夜間換気）
- d. 自然エネルギー利用建築（放射冷却・蒸発冷却）
- e. 自然エネルギー利用建築（昼光利用）
- f. パッシブ建築の運用・住まい方・教育
- g. パッシブ建築の性能評価（総合評価・実測・ZEB等）
- z. その他

5. 建築学会 須永主査「建築学会 研究協議会の内容について」

- 資料 2-4：2010AIJ 協議会 地球環境保全に関する熱環境分野の研究成果・社会貢献と喫緊の課題
- ・ 須永主査から報告 → 強調すべきこと、注意すべきことがあったら連絡
(→ 2010.9.10 2010AIJ 協議会にて発表済)

6. 来年度の熱シンポジウムの企画について

- ・ 今年の熱シンポジウム(10/23(土))に場所と時期は報告する
→ 北海道札幌（市立大学・定山溪・・・）
- ・ 時期：10月後半 金・土 ← 値段と気候を考慮する
- ・ 内容：バイオ本をテーマとして・・・設計者もよぶ
→ 次回の小委員会以降も検討していく

7. 話題提供：長谷川幹事「環境設計のための自然エネルギーポテンシャルの提案」

資料 2-5：環境設計のための自然エネルギーポテンシャルの提案(長谷川の先生)

- ・ 長谷川幹事から話題提供
- ・ 各自然エネルギーポテンシャルと気象制御方策の必要度の関係より、「自然エネルギー利用計画のための建築気候区分図」を試作
 - ・ Givoni の建築生気候図から 20 年間の年間を通して必要度を算出している
→ 20 年間の変化、季節、効果のある時間等の影響もあるのでは？

8. その他

資料 2-6：(財)ベターリビングつくば試験研究センター試験研究本館：(株)エステック計画研究所設計

- ・ 金子委員から報告 → 次回 話題提供 + 後日 見学検討

9. 次回委員会日時

10月29日(月) 12:00~15:00

以上